学校番号	3025

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）人間環境	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	LIFE　おとなガイド（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、家庭基礎で学んだ知識・技術を、より深め、応用力を身に付けます。
・実践的・体験的な学習を通して、学んだ内容を実生活に生かし、よりよい生活を目指します

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・家庭基礎で学んだ内容を深め、実生活に生かす力を高める。
【思考力、判断力、表現力等】
・どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・家庭生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、生活の質の向上と社会の発展を担うために必要な資質・能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	共生社会と福祉	・支えあう暮らしとは ・わたしたちの社会福祉	a:生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解でき、国や自治体などの制度や行政サービスなどの制度についての知識を身につけている。 b:共に支え合う社会の一員として主体的に行動する意思決定能力を身につけ、家庭や地域及び社会の生活を創造していくための課題について考察することができる。 c:家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性を積極的に理解し、自分の力を生かそうとする。	・レポート ・小テスト	・レポート	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察
	現代の消費生活	・消費者問題 ・契約と契約トラブル	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 b:・消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 ・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 c:自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動について積極的に理解し、消費において自主的に行動しようとする。	・レポート ・小テスト	・レポート ・発表	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察

	経済生活を営む	・収入と支出 ・ライフステージと家計 ・家計管理シミュレーション	a:家庭経済・国民経済などの仕組みについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 c:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	・レポート ・小テスト	・レポート ・発表	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察
	食生活のデザインと実践1	・調理実習1(和食) ・調理実習2(洋食)	a:調理実習を通して、日常の食事作りに必要な調理技術を身につけ、準備から後片付けまでの一連の流れを計画し実践できる。 b:調理実習において、作業の流れを考え、効率について判断しながら取り組むことができる。また、科学的な思考を身につけ栄養計算ができる。 c:実習に積極的に参加しようとしている。食事マナーを身につけ、楽しく食事することができる。	・レポート ・実習態度	・レポート ・実習態度	・レポート ・実習態度
2学期	衣生活のデザインと実践	・赤ちゃん甚平製作	a:実習を通して、衣服の平面構成、立体構成を理解し、基礎縫いやミシン縫いなどの縫製技術を身につけることができる。 b:衣服と人の関係の中でも、ライフステージと衣服、これまでの変化について考えることができる。 c:衣服と人との関係に関心を持ち、布を用いた具体的な実習について、積極的に取り組もうとしている。	・レポート ・製作物	・レポート ・実習態度	・レポート ・実習態度

	食生活のデザインと実践２	・調理実習３（中国料理） ・調理実習４（お弁当コンテスト） ・調理実習５（パーティー料理） ・調理実習６（正月料理）	a:調理実習を通して、日常の食事作りに必要な調理技術を身につけ、準備から後片付けまでの一連の流れを計画し実践できる。 b:調理実習において、作業の流れを考え、効率について判断しながら取り組むことができる。また、科学的な思考を身につけ栄養計算ができる。 c:実習に積極的に参加しようとしている。食事マナーを身につけ、楽しく食事することができる。	・レポート ・実習態度	・レポート ・実習態度	・レポート ・実習態度
３学期	食生活のデザインと実践３	・調理実習７（エコクッキング） ・調理実習８（自由献立）	a:調理実習を通して、日常の食事作りに必要な調理技術を身につけ、準備から後片付けまでの一連の流れを計画し実践できる。また、栄養、食品の知識をもとに、食事摂取基準、食品群別摂取量などを用いて、バランスのとれた食事計画ができる。 b:調理実習において、作業の流れを考え、効率について判断しながら取り組むことができる。また、科学的な思考を身につけ栄養計算ができる。 c:実習に積極的に参加しようとしている。食事マナーを身につけ、楽しく食事することができる。	・レポート ・実習態度	・レポート ・実習態度	・レポート ・実習態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度